

No.2928

日韓近現代史をめぐるワークショップ

慶応義塾 福澤研究センター

教授

西澤 直子

日韓近現代史をめぐるワークショップは、2018年8月27日から30日にかけて、ソウルで梨花女子大学、ソウル大学、高麗大学を会場として行った。本ワークショップの目的は、歴史研究に携わる日韓の若い世代の研究者たちが、実証的研究に基づく研究を発信し、両国の歴史研究の発展と相互理解へ寄与できるよう、アーカイブズに関わる研修と研究発表を行うことであり、今回4日の日程で5名の報告者を得た研究発表会と、計5か所の博物館文書館を回り、内2か所においては通常見学することができないバックヤードツアーを行うことが出来たことは、目的を十分に達することが出来たと考える。

詳しい日程は以下の通りである。

27日は梨花女子大学において、梨花歴史館および梨花女子大学博物館を見学した。

28日は梨花女子大学において、終日研究発表会を行った。

29日は午前中にソウル歴史博物館を見学、午後はソウル大学内にある奎章閣を見学した。奎章閣では展示室だけでなく収蔵庫を見学し、温湿度管理や防虫対策など資料保存対策について、また資料補修やクリーニング作業についても学んだ。

30日は朝鮮の近代化において活躍した兪吉濬の資料を保管している高麗大学博物館を訪れ、非展示資料も閲覧した。また日本とも関係があり、文学者で大韓民国憲法の起草者でもある兪鎮午(1906~1987)関係資料から、現代資料の保存対策も学んだ。

個人では閲覧することが出来ないスペースや資料に接することが出来たことは、学ぶことが多く、大きな励みともなった。